

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



青森県しも きた ぐん おお ま ち下北郡大間町

下北森林管理署

人口 4,484人 (R8.4.1現在) 面積 52.10km²

市町村の木 クロマツ 市町村の花 ハマナス

北海道の山並みを北に仰ぎ、津軽海峡の雄大な自然に抱かれた大間町は、青森県下北半島北部に位置し、津軽海峡を隔て北海道との最短地点である函館市汐首岬とは約17.5kmに位置する漁業を中心とした町です。

大間町では、マグロ、ウニ、コンブなどの海藻類などが多く水揚げされています。なかでも「大間マグロ」は高値で取引され、2026年の東京・豊洲市場の初競りでは、5億1,030万円もの値がつけました。また、水産業は「大間マグロ」だけでなく、様々な水産資源の知名度や付加価値の向上に努め、ナマコ・アワビの放流など、「つくり育てる漁業」の推進を図っています。



本州最北端 大間埼

そんな漁業が盛んな大間町で行われているのが、毎年海の日に行われている「大漁祈願祭」。海上操業の安全と豊漁を祈願し、色とりどりの大漁旗をひるがえし、多くの漁船が海へと繰り出していきます。併せて行われる天妃様行列は、日本と台湾の文化が融合した異国情緒たっぷりの神事です。



天妃様行列

大間マグロの知名度に追いつけ追い越せと、黒毛和種の「大間牛」を約80頭飼育しています。最高等級ランクにも評価されることもあることから「おか陸マグロ」と呼び、平成29年には「おか陸マグロ」を商標登録し、大間マグロに次ぐブランド化を目指し取り組みを進めているところです。



大間牛「おか陸マグロ」

農業では、全国的に希少となった馬鈴しょ品種「三円薯」を栽培し、「オコッペいもっこ」の商品名で販売しています。イオンリテール(株)と提携し、全国へ向け販路を拡大し、知名度の向上を図っています。



オコッペいもっこ

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



お問合せ先：大間町役場産業振興課 Tel.0175-37-2537